

# もみじ

—広島県山岳連盟会報—



一般社団法人 広島県山岳連盟

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

電話・FAX (082) 296-5597

E-Mail: hgakuren@lime.ocn.ne.jp

URL: <http://hiroshima-gakuren.or.jp>

郵便振替口座 01380-6-37958

## 日本山岳協会の法人名変更について

### 「日本山岳クライミング協会」へ 名称変更

本協会は、平成 25 年に公益社団法人化したときに、定款や組織・運営体制などを見直しました。本協会の対象は、従来の各都道府県山岳連盟(協会)加盟の会員から、日本国内の登山愛好家やスポーツクライミングを楽しむ人たちに拡大することになりました。

本協会の旧来の会員構成をみてみますと、その高齢化は著しく、このままで未来に向けた運営を託すのは、いささか厳しいと感じております。若い会員層が厚くなるような組織、若い人たちが張り切って仕事をしたくなるような運営体制を模索しています。その一環として、昨年来、理事の皆さんともども議論し、知恵を絞ってまいりました。

フロンティア精神を高揚させるような高峰登山や高難度を目指す登山は昨今減少しています。多くの未踏峰が登られ、冒険的な対象が減ったことは事実ですが、社会そのものや若者の気質にも変化が起きていることがその背景にあると考えられます。既に、登山の質は本協会が設立された頃のそれとは様変わりしています。一方でスポーツクライミングは若年層の心を掴み、さらにはオリンピック種目に採用され知名度を上げています。

真剣に取り組む選手たちの日常には、かつて我々が登山に青春をかけたのと共通の熱い心を感じます。ヒマラヤ登山やルート開拓、フリークライミングなどにかけた夢が、スポーツクライミングを担う若者にも継承されることが期待できそうです。彼らのような真剣な若者を、もっと積極的に支援し、また本協会内で活動してもらうように誘導することを考えると、オリンピック種目になった今が好機です。日本中が熱中する注目度が高い場に、本協会のような団体が関与するチャンスは滅多にありません。いまこそ、志ある若者に本協会の存在をアピールし、本協会や本協会主催の行事への参加を促す、絶好の機会です。

公益社団法人になった我々には、その視野を加盟団体のみに向ける内向きの発想は許されません。「山岳や登山」という概念の時代変遷を踏まえて新しいジャンルに再編してゆく決意を広く国民に語り、応援してもらえる団体になる一つの手段が、名称変更です。我々組織の現状と将来を考える絶好の機会を「スポーツクライミングの五輪種目化」が与えてくれたと思っています。現状を鑑み将来を見据え、慣れ親しんだ名前を残しつつ、若い世代に夢を引き継いでいくことも考えて、新しい名称を「日本山岳スポーツクライミング協会」(Japan Mountaineering Sport Climbing Association)にしたいと思います。この名称変更議論は、国民全体に広く本協会の存在を知っていただき、自然に応援してもらえるような団体に自己改革してゆく契機であり、組織そのものの役割や機能を見直す絶好の機会になると考えています。本協会

を支えてきた多くの先輩方に感謝申し上げ、さらに登山とスポーツクライミングの両輪で将来に引き継いでいきたいと思います。国際的にも名称に「クライム」が入っている団体は少なくありません。名称変更は本協会のみで各都道府県山岳連盟（協会）の名称はそのまま何の問題もありません。「日本山岳スポーツクライミング協会」をより発展させていこうではありませんか。（平成 28 年 9 月 13 日 加盟団体各位宛 公益社団法人日本山岳協会 会長八木原罔明より）



写真提供 県庁山の会

#### 第 4 回県民ハイキング「小室伊山」実施報告

##### カープ優勝記念植樹 「レンゲツツジ」植える

山名：小室井山 1172m

廿日市市吉和もみの木森林公園

実施日：9 月 11 日（日）

担当団体：広島県庁山の会

参加者数：78 名（うち小学生 6 名）

コース： もみのき森林公園公園センター(10:00) ⇒  
ブナ・ミズナラ（東側尾根）コース ⇒小室井山（11:20） 山頂で植樹・昼食  
小室井山（12:30）⇒ 草原（西側尾根）コース  
⇒ もみのき森林公園公園センター（13:45）  
ひとこと：天気も良く、尾根道の登山道はそよそよと風も吹いて、絶好のハイキング日和の中行われた。自然林の中の緩やかな登山道をゆっくりと歩いた。山頂では、もみのき森林公園等の協力により、前日に決まったカープの 25 年ぶりの優勝を記念して、全員で一人 1 本レンゲツツジを植樹した。今後も、自分たちの植えた木がどう育っているか、時々見に訪れたいと思う。

#### 山の日「8 月 11 日」

#### 2016 年から国民の祝日となりました



写真提供 県庁山の会

#### H28 年度 第 5 回クライミングスクール

##### 貞安章子（受講 2 年生）

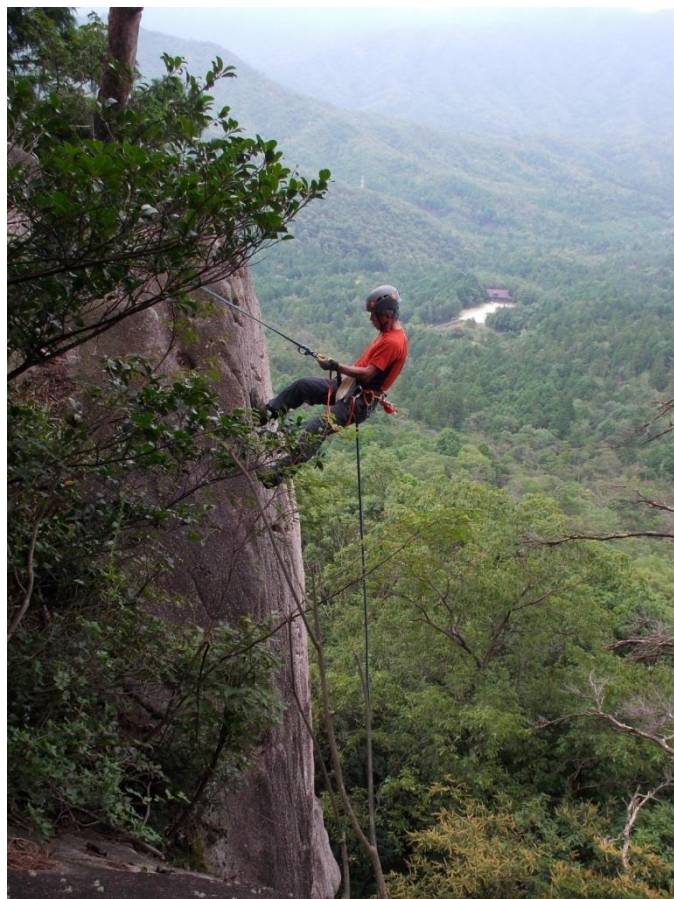
クライミングとは無縁だと思った私が始めて 2 年目のスクールも後半になりました。三倉岳ももう何度も行きますが、まずは取りつきまでの登りがキツイ・・・今回は青白まで。展望台までで息が切れるし、2 番手を歩くも、ペースが遅れがち。最近はこちらまで一苦労・・・他の生徒さんとの体力差も明らかでした。8 月は青白ハングから 2 ピッチ分のマルチをします！？他の人のルートの話はチラホラ聞いていましたが、実際は見たことないし・・・果たして私が？？指導の方も「登れるかな～？」なんて言って笑っておられましたが、当事者は「無理だったらどこでやめてい



いのですか??」なんて聞く始末(笑)私の前に2名の生徒さん、しかも今年入った方が2ピッチ無事登頂。最後の私は初めて見る崖っぷちやら、クラックやら、あれこれ指示を聞いて悪戦苦闘しました。見よう見まねといいますが、前の人を見てないので言われたところを探しながら火事場の馬鹿力を頼りに頑張りました。気付けば45分かかり上までたどり着き、ラッペルで下りることができました。

「とにかく登る前からできないと諦めない。出来ないものは出来ないなりに頑張ること!」それを身に染みて感じました。苦劳しましたが、とても貴重な体験ができたと思います。

今後ともご指導よろしくお願いいたします。



写真提供 森本 覚

## 第 6 回クライミングスクールを受講して

9 月 4 日

沖中広司

九州地方を北上中の台風 12 号を心配しながら三倉岳

に集合。点呼の後、受講生 8 人、インストラクターの方 8 人の出席で(今日はマンツーマンの指導でヨ?)今のところ台風の影響は出ていないので「源助崩れ」にてラッペリングを中心に授業を行うとのこと。

凡そ 25 分位歩いて六合目にある「源助崩れ」に到着。今日は湿気も多く、蒸し暑い。既に全身汗だくとなりながらクライミングの仕度に取り掛かる。一班と二班に分かれて授業開始。私たちは一班 4 人である。二人一組で、まずはダブルフィギアエイトノットとクローブヒッチの結び方の復習をした後、テラス下に在る「猫のひめい」と言う 10m 位の壁を懸垂下降。続いてテラス上部に在る「モアイクラック」「ヒップクラック」に移動。私は上がった奥側の「ヒップクラック」に挑戦。セルフビレイを取った後下を覗くと真平らな垂直の花崗岩の壁が下まで落ち込んでいて着地点は見えない。こりゃあどーか。30m はある。息を呑む。恐怖心を抑えて、エイト環にダブルロープをセットしてテンションを掛け確実にセット出来たことを確認してからセルフビレイを外す。「セルフビレイ OFF、懸垂を開始します。」と下に声を掛けて下降開始。岩の割れ目を避けるため足を使って右へ左へと移動しながら下降。下へたどり着いた時には喉はカラカラに渴いて、時間もすごく長く感じた。「モアイクラック」の方は女性陣で混雑しているので、もう一度「ヒップクラック」に挑戦した後、昼休憩。

午後は「猫のひめい」の場所でラッペリングのロープセッティングと回収の講習から始まった。まずは束になったロープに縄れは無いか手繰り直す。ロープの一方の端を支点に通し、両端をそれぞれ一端ずつ結び目を作りコブを作る。両端を合わせてロープを束ねる要領で首と肩周りを使ってダブルロープにして束ねて行く。半分位手繰り終えたら縄れない様に、束が崩れない様に他の位置に置き、残りを同じ様に束ねて行く。通した支点まで全て束ね終えたら、最初の束を右手に持ち、ロープダウンと下に声を掛けて、右手に持ったロープ束を投げる。2 秒位後に左手に持ったロープ束も投げ落とす。縄れも無く下まで落下したら拍手喝采である。このロープを使って二人が懸垂下降、下からロープを回収して

(ロープの端が支点から落下して来る直前には「ロープダウン」と叫んで周りに知らせる。) 束ねて上のテラスまで持って上がる。この作業を二人で共同作業で行うのである。これを通りマスターした後、元のテラスに戻り、「モアイクラック」上部までの登山道でマルチピッチクライミングの手順の復習を(4人でリードとフォローを交代)しながら「モアイクラック」上部まで上り、今度は二人一組で 60m ロープを使って再度、ラッピングのロープ設営と懸垂下降～ロープの回収～束ねるを二組、一回づつ行ったところで終了時刻となった。今日は懸垂下降を 5 回。いやーあ実に充実した一日でありました。

クライミングスクールも残すところ後 2 回となりましたが、インストラクターの皆様からご教授いただいた色々なクライミング技術を自分のものとして行くよう頑張りました。



写真提供 森本 寛

## 第 6 回クライミングスクール感想

受講生：越能亨子

日 時：9 月 4 日 (日) 場 所：三倉岳

9 月の講習は、台風の為ジムに変更かと思いましたが、前日に届いたメールは三倉で集合でした。

今回は雨の為か参加人数が少ないです。雨が降ったらロープワークを変更し、開始時は小雨だったのでラッペルの練習を主にという予定です。実際は雨にもそこまで降られず、トップロープで岩に登れた状況となりました。

参加人数は 8 名(内 1 名見学)、指導員 8 名ほぼマンツーマン状態。源助まで行き 2 班に分かれ、うちの班は 3 名 以下 7 項目を行いました。

- ① 結びの確認(エイトノット・クローブヒッチ) ② ラッペル(空中停止 足絡め・ロープダウン時の絡まり解消しながらの下降)
- ③ セカンドビレイ(ムンター) ④ フィックスロープ(設置・スリング掛け替え)
- ⑤ トップロープ(セッコクを踏まないで、ソフトクリーム) ⑥ 終了点でのロープ掛け替え(ローダウン・ラッペル)
- ⑦ 自己脱出前の固定方法(ビレイ、ラッペル時)

今回は人数も少ないこともあり、待ち時間も少なく聞きたい事が沢山聞けた様に思いました。

私は参加前に、山岳事故の検証が多く記載されているドイツの生と死の分岐点を読んでいました。指導員が言う事の重要性の裏付けとなる様な事故の実例が沢山載っているので、これを読むと理由がわかり怖くなり、より自分で考え行動することの大事さを感じていました。

そんな前段階もあり、今回の講習は自分にとってはとても良いものとなりました。指導員の M さんは初めて指導についてくれたのですが、詳細かつ論理的に話してくださり、とても為になりました。

ダブルエイトノットが平行に出来る方法、ロープの廃棄時の確認方法やスリングの種類分け、ロープダウンに絡まない様に少しの小技、結び目がきれいじゃないとなぜ問題が起きるかなど多岐にわたり詳細に見てくださり書ききれません。

また副会長にもラッペル時に指導を頂き、無造作に行う事が一連の流れを助長させてしまう事を教えてもらいました。ラッペルにかかる一人当たりの時間など頭になかったのでハッとしました。

外岩でクライミングを続けていくにあたって雨が降ってたら？誰かの救助場面であつたら？自分が怪我



したら？いろんな場面にこれから遭遇すると思います。全ての一連の動作によって答えが違ってくるのだろうな。

全ての動作、道具には意味があり、より安全により正確により早くを自分の為に。また、一緒に行動する人の為に習得すべきなのをより理解した一日となりました。

最後に、G 指導員の「命がかかっている趣味」の言葉がより響いた一日でした。

あと 2 回ですが、少しは登れるようになりたいと思います。

ご指導して下さった指導員の方々、ありがとうございました。

## 2016 年度 第 6 回 登山教室をおえて

1、期間：第 6 回 2 年生 9/10(土)～11(日)

2、登山形態：ベースキャンプ山行

3、山域：大山・烏ヶ山

4、人数：11 名 (スタッフ含)

2016 年度 2 年生の第 6 回目は岩稜歩きの実践として大山地獄谷ルート～野田ヶ山と烏ヶ山に行ってきました。地獄谷の渡渉は前回の沢の経験が生かされたようです。野田ヶ山と烏ヶ山の岩稜歩きは空木岳の経験が生かされたようです。今回は CL を L クラス生が担当しました。(指導部 森本 寛)

## 感想文第 6 回登山教室

大山地獄谷・烏ヶ山

登山教室 2 年 渡邊久美子

9 月の登山教室は、大山地獄谷と烏ヶ山を歩くテント泊でした。

一向平キャンプ場から深い森の中をアップダウンしてから地獄谷の沢に入りスパッツを着けました。川を

素早く渡れず最初の一跨ぎで靴の中に水が入ってしまい一度濡れてしまえば、8 月の沢登りと同じで気にならなくなりゴーロ歩きを意外と楽しんでいました。堰堤を越えると大きな岩がゴロゴロして至る所に滝が出来、風景が変わった気がしました。地獄谷は、つい下ばかりを見て歩いてしまいましたが上を確認しながら歩かないと大きな岩が今にも落ちて来そうで本当に気が抜けない所です。

駒鳥避難小屋手前から象ヶ鼻の稜線までは、藪漕ぎや滑りやすい岩に足を取られながらの歩きの稜線に出る直登は、落石をしないように神経を使う急登でしたが、象ヶ鼻の稜線に出ると見慣れたユートピア避難小屋や大山の稜線も見え景色を楽しめる余裕がありました。次の野田ヶ山までは、ピークと稜線の片側にガスがかかりアルプス気分を味わえアップダウンのクライミング感を楽しめる稜線歩きとなりました。

大休峠まで長く歩いた気がしましたが、一番辛かったのは大休峠から一向平キャンプ場へ下山でした。段々、夕方の薄暗さから暗い闇に変わりヘッドライトを着けて慎重に歩きました。本当に疲れました。キャンプ場に着くとすぐに食事の手伝いをしなければいけないと思いながらも体を横にしたいとばかり思っていました。

次の日の烏ヶ山は、登る自信がなかったのですがテントでたっぷり睡眠がとれ 体はギンギン言いましたが、後半の急登を何とか遅れを取らず登ることが出来き山頂の岩登りも楽しめ 違う角度の大山を眺望でき何度も登りたい山になりました。

地獄谷遭行コースは、ゴーロの沢歩きや急登と稜線歩きとプチクライミングをたっぷり経験出来、秋の花々や苔も楽しめる山行でした。個人では決して行けないコースをご指導頂き歩き通す事が出来ました。ありがとうございました。

## 山の日「8 月 11 日」

## 2016 年から国民の祝日となりました



写真提供 久保田 征治

## 第 6 回 1 年生登山教室

- 1、期間：9/25(日)      2、登山形態：日帰り山行  
3、山域：江田島      4、人数：8名(スタッフ含)

2016 年度 1 年生の第 6 回目は読図の講習でクマン岳～古鷹山へ行ってきました。午前中は天気恵まれ山座同定、目的地のセット、クロスベアリングを行いました。午後からは小雨振る中、1 年生が交代で先頭に立ちイバラやブッシュをかき分けて進みました。踏み跡のない藪漕ぎで読図の重要性を体験できました。

(指導部 森本 寛)

### 江田島 クマン岳～古鷹山

#### 登山教室 1 年 幾田 千代

9 月 25 日、読図(クロスベアリング・マップポインター)を目的に江田島、クマン岳から古鷹山へ行ってきました。切串港近くの公園で、コンパス・高度計を合わせます。今から登る山が見渡せ、確認して出発です。クマン岳登山口より、少し入りヤブこぎがはじまりました。見晴らしの良い地点に出て、クロスベアリング。椎ノ木鼻と屋形石・切串港を目印に線を引き現時点を割り出し、マップポインターで答え合わせをします。「おー。あってる」ポイントが多いほうが良いとのこと。

段彩図を見て、地形を見て歩きます。クマン岳まで

は道が整っています。しかし、帆立岩直前で段差に気が付かず、踏み外し左足をくじいてしまいました。リーダークラスの方に素早く処置していただき、すぐに歩けるようになり、痛みも 2 日ぐらいいおさまりました。今回は軽い荷物でしたが、これが重いと慎重に歩かないといけないと思いました。

古鷹山に行くまでも、いろいろなキノコ・栗・アケビと秋らしい自然を味わえました。そして、ソロプチミストの森を過ぎ、ポツポツ雨ぐらだったため、ヤブこぎルートへ。イバラの道です。サルトリイバラ、こんなところにトゲだらけの木！そして、1 年女子(?)は率先して先頭に行くようにとの指令があり、剪定はさみを手に先頭へ。そして、また失敗。服は破れてもいい格好(すでに破れている)でしたが、カップは新品。雨は本降りになってきたけど着たくない。雨に濡れます、私。

踏み跡もなく、景観もよく見えず地図とコンパス・高度計で確認しながら進みます。317 峰の次のピークで、コンパスで確認したけど違う方向に降りていたことに気づき、引き返す。どこで、間違ったか確認し進みます。そこからは、地図通りに歩くことができました。読図ができるようになろうと思いました。スタッフの方・サポートをしていただいた先輩方、ご指導いただきありがとうございました。



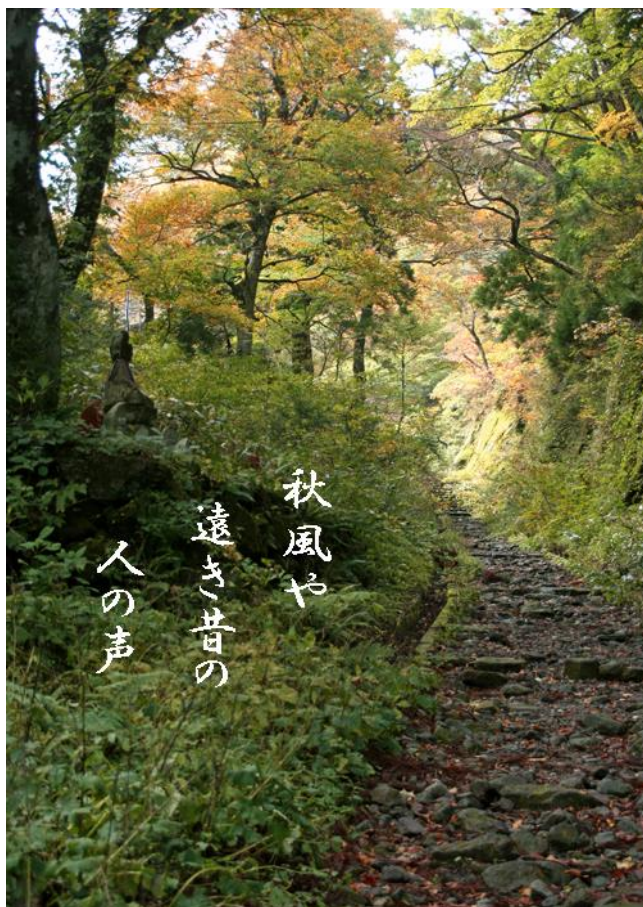
写真提供 久保田 征治



## フォト俳句

秋風や 遠き昔の 人の声

福山山岳会報平成 28・10 より



6、受講料：開催要項参照

7、問い合わせ先：日本山岳協会指導委員会

TEL 03-2481-2396

開催要項 (抜粋)

受講者：①受講する年の 4 月 1 日現在満 25 歳以上の者で 5・11 をリードできる者

②地域においてスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で実際の指導にあたっている指導者及びこれから指導者になろうとしている者

受講料

専門科目 30,000 円 (消費税込み)

宿泊については受講案内に表記します

免除科目については別に定める。

共通科目 共通科目受講料「1+II」 14,700 円 (消費税込み) ただし共通科目「1」免除者は 8,400 円「消費税込み」

詳細は日本山岳協会指導委員会までお尋ね下さい。

## 2、ふるさとの山へ登ろう 県民ハイキング

広島県山岳連盟では、広く県民の皆様に自然に親しんでもるとともに、登山の楽しみ方、登山のマナー、安全登山への啓発を兼ねて県民ハイキングを主催しています。ご参加をお待ちしています。

### 予定表

(回数・開催日・山名・所在地・担当団体)

- 1 回 6・5 (日) 男鹿山 (世羅町) (山岳連盟)
- 2 回 7・3 (日) 可部冠 (安佐北区) (可部山岳会)
- 3 回 8・11 (木) 比婆毛無山 (西城町) (山岳連盟)
- 4 回 9・11 (日) 小室井山 (廿日市) (県庁山の会)

- 5 回 10・23 (日) 恐羅漢山 (安芸太田町) (広島山稜会)
- 6 回 11・20 (日) 高山・新高山 (三原) (三原山の会)
- 7 回 12・4 (日) 宗箇山 (西区) (広島やまびこ会)
- 8 回 1・22 (日) 岳浦山 (倉橋) (ひこばえ)
- 9 回 2・19 (日) 日浦山 (海田町) (マツダ親和会)
- 10 回 3・26 (日) 呉婆々宇山 (安芸区) (広島三峰会)

## 3、寄贈御礼

①会報 (福山山岳会) 平成 28・10

事務局便り。山行予告 (ナラ山野辺の道・極楽

## 岳連短信

### 1、スポーツクライミング

#### 上級指導員養成講習会案内

1、日時：10・29 (土) ～30 (日)

11・19 (土) ～20 (日)

2、集合：10・29 (土) 10:00

3、会場：山口県セミナーパーク

4、講習時間 (予定)：今回は SC 指導員と上級指導員を同時開催とします。

5、申し込み：申し込みは受講申し込み書記入の上、公益社団法人日本山岳協会へ本紙を郵送願います。その後受講者が内定しましたら受講案内を送ります。(申込期限 10・9 (金) 必着)

寺山・自然観察会緑陽公園・神島三山・三嶺から天狗山縦走・ロッククライミング) 山行報告  
(草戸山・蔵王山・夏山修中登山・下帝釈峡川歩き) 記念講演会・山で気をつけたい生物

## ②JAC Hiroshima 日本山岳会広島支部報第 61 号 2016・10・1 発行 32 頁

平成 28 年度組織図・役員・山を想う、山を語る(江本嘉伸)・新人歓迎登山・新入会員紹介・北岳バトル第 4 尾根主稜クライミング・どうする山の野生動物とのかかわり・11 周年目を迎えた夏の北ア登山バス・例会山行案内ほか

### 4、「燃える山脈」穂高健一著

大崎上島出身の作家穂高健一さん(72)が、江戸後期の上高地(長野県)などを舞台にした山岳歴史小説「燃える山脈」を刊行した。史実に沿いながら、険しい北アルプス越えの「米の道」開削に尽力した民衆の労苦と人生模様を描き出している。

1816 年に農民たちが造り、今も信州安曇野を潤す農水路「<sup>じつせき</sup>拾ヶ堰」の秘話から始まる。物語はさらに、そこで実った米を、上高地を経て米不足の飛騨(現岐阜県)へ運ぶ飛洲新道の開拓に展開。実在した庄屋の娘、岩岡志由を主人公に、新道建設熱意を注いだ人々の奮闘を 13 章につづる。

日本山岳会員でもある穂高さん。北アルプスで「朱に染まる朝夕の光景に身震いした」体験をタイトルに込めた。小説には、江戸後期にいち早く北アルプスを踏破した念仏行者も登場する。440 頁。1728 円。山と溪谷社。(中国 2016・6・19)

### 5、スポーツクライミング

#### 東京五輪追加種目正式決定

8 月 3 日(日本時間 8 月 4 日午前 5 時)、ブラジルのリオネジャネイロで開催された第 129 回 IOC 総会で、東京 2020 年オリンピックの追加競技種目に提案されていたスポーツクライミング、野球・ソフトボール、空手、スケートボード、サーフィンの 5 競技 18 種目(選手総数 472 人)が一括承認された。(平成 28・9・6 日本山岳協会臨時理事会報告)

### 6、東京五輪推進室の設置

東京 2020 年オリンピックに向けて会長直轄の「東京五輪推進室」をただちに設置して、東京 2020 年オリンピックに関わる案件に対処する。室長には副会長が当たり、業務を統括する。「名称変更を前提とした日本山岳協会の中に、独自性が高く、年齢や経験も選手層に近い人材より構成された事業部等を設け、財政的にも独立に近い形の運営を行うことが望ましい。」との答申を受けて、現状の「競技部」を「スポーツクライミング部」とし、答申に沿ったスポーツクライミングに特化した事業部に改革する。(平成 28・9・6 日本山岳協会臨時理事会報告)

### 7、登山道整備のボランティア募集

広島山稜会では荒れつつある登山道を整備し、少しでも多くの人に歩いてもらいたいという思いから登山道整備を始めました。今年で第 5 回になります。今回の整備場所は恐羅漢山の麓にあたる、牛小屋谷を中心に整備をすることにしております。この牛小屋谷は国定公園の中にありながら、大雨や大雪等により橋が崩落したり登山道が狭くなったり危険な箇所がたくさんあります。このため 3 年前から牛小屋谷の整備を行なっております。

引き続き今回も皆様のご協力をいただいて牛小屋谷の登山道の整備を行ないたいと思っております。

紅葉も見頃と思いますので自然を楽しみながら登山道整備のご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

尚、作業時間は 4 時間程度を予定しています。

記

期 日：平成 28 年 10 月 30 日(日)(雨天中止)

集合場所 牛小屋高原駐車場 9 時 00 分集合

行 程 牛小屋高原駐車場 9 時 30 分出発

牛小屋谷→ 田代→ ヨビヤ峠→ 横川小跡

15 時頃解散予定

持ってくるもの 昼食・水・タオル・着替え・手袋・整備道具(山クワ、草刈器等)整備道具が無い人でも OK です。

服 装 作業しやすい服装(長袖が望ましい)。虫除けネットをお持ちの方は持参下さい。



電話での問い合わせ及び参加希望者は 10 月 23 日 (日) までに下記へご連絡下さい。

090-7998-8827 廣田

FAX 及び E-mail でお申し込みの方は氏名・年齢・住所・電話番号を下記へお送り下さい。

電話 (FAX) 082-843-5564

E-mail t-hirota2028@hb.tp1.jp

広島山稜会会長 廣田忠彦

岳連盟のあり方

・現在の検討体制、状況と今後のスケジュール

第1 回検討委員会を 10 月 24 日に開催 (予定)

加盟団体や理事会と調整しながら検討を進める。

＊ 今年 5 月の定期総会で、検討が決定されたものです。検討体制や議論の方向性、留意事項について、ご意見をお聞かせください。

## ② 県民ハイキングの現状と来年度以降の方向性

・これまで開催分の振り返り (山岳連盟担当役員・担当加盟団体から)

当初の目的：山岳連盟と加盟団体の活性化

新たな、組織運営経費の財源として

良かったこと、改善が必要なこと

・これから (年度内) の改善すべき点、来年度以降の方向性

・来年度以降継続する場合の調整スケジュール

2 月をめぐり、日程、担当団体を調整する。

今年度担当団体で継続をお願いする団体、新たをお願いする団体

(各団体の意向聞き取り…時期、山域など)

＊ 各団体の意向をお聞かせください。意向は、12 月～1 月をめぐり取りまとめ、2 月をめぐり日程、担当団体の調整を行います。

## ③ 日本山岳協会の名称変更と広島県山岳連盟の対応

・「公益社団法人 日本山岳協会」(中央競技団体) が、11 月 13 日の臨時総会で、名称を「公益社団法人 日本山岳スポーツクライミング協会」に変更することを予定している。

・若年世代を中心に活発化している「スポーツクライミング」を積極的に支援することにより組織を発展させていくこと。

・「スポーツクライミング」がオリンピック種目に採用された今が、名称変更の好機であること。

・各都道府県別競技団体 (「一般社団法人 広島県山岳連盟」など) は、名称変更を求められていない。従って、標準名称案は示されていない。

→別紙の日山協作成資料参照

## 8、全員協議会開催のお知らせ

1、日時 平成 28・11・9 (水) 19:00～

2、場所 西區区民文化センター

3、議題 ①山岳連盟長期ビジョン

②県民ハイキングの現状と来年度以降の方向性

③日本山岳協会の名称変更と広島県山岳連盟の対応

### 現場の声をお聞かせください！

#### ① 山岳連盟長期ビジョン

・位置づけ …… 前回岳連改革から約 10 年、100 周年に向けて、5 年計画・10 年計画

前回 任意団体から一般社団法人に移行 (平成 21 年度)

(ボランティア団体間の競争を有利に進めるため… 行政等からの契約相手となりやすい。ステータス感がある。)

個人会員制度の創設と、団体加盟中心から個人加盟中心への移行

(組織主義から個人主義への社会の変化への対応。安定した財源の確保。)

今回 これまでの岳連改革の効果と今後の社会の変化を予想し、持続可能な組織としていく

(現在の人的財産、金銭的財産、組織の運営ノウハウの持続的継承。)

加盟団体、スポーツクライミングの今後を見据えた山

＊ 中央競技団体の名称変更に関連して、今後の広島県山岳連盟の活動の在り方、名称などについて意見をお聞かせください。

## 広島県山岳連盟の略歴と活動

**結成：**大正 3 年 (1914) 広島山岳同好会が創立され登山活動を行っていたが、昭和 16 年 (1941) 1 月 16 日、5 団体・120 名で「広島県山岳連盟」を結成。平成 21 年 (2009) 5 月 9 日一般社団法人広島県山岳連盟として法人登記。

**現在会員数：**29 団体・一般 22 団体・大学山岳部 2 校・高体連登山部 16 校・個人 43 名 合計 1,807 名

**事務局：**一般社団法人広島県山岳連盟事務局

〒733-0011 広島市西区横川町 2 丁目 4-17

TEL/FAX 082-296-5597

**活動と運営：**連盟の運営は、事務所及び専従を置いていることから会費収入他の不足分は、執行部・運営スタッフを 7 部門に分け、各部が事業活動を行い、余剰金を充てて運営している。

## 事業計画 11 月

- 11・4 (金) ～6 (日) 全日本登山大会 (島根三瓶山)
- 11・5 (土) ～6 (日) 指導者養成無雪期実技 (三倉岳)
- 11・6 (土) クライミングスクール (三倉岳)
- 11・8 (火) 運営会議⑧
- 11・9 (水) 全員協議会 (西区民文化センター)
- 11・10 (木) 登山教室②机上 (三篠公民館)
- 11・12 (土) ～13 (日) 登山教室② (大山)
- 11・16 (水) クライミングビギナーズレッスン
- 11・20 (日) 県民ハイキング (高山・新高山) 三原山の会
- 11・30 (水) スカイラン実行委員会②

## 山の風景 67

(比婆山) 公園センターから出雲峠への登山道

2016・8・11 写真提供 森 智昭 (ひこばえ)



## 編集部より

○この会報は、皆さんの提出原稿を編集して発行しています。岳連行事・山の情報・行事参加の感想など気軽にお寄せください。寄稿の場合は所属、役職を記入下さい。写真説明、写真提供者を記入ください。編集の都合で一部手直しすることがあります。ご了承ください。

○会員団体で会報発行されたら岳連事務局まで恵送下さい。随時紹介します。

○この会報はメール配信しています。配信ご希望の方は岳連事務局までメールアドレスをお知らせください。

題字デザイン 今村みずほ 編集 仲井正美